



6年ぶりの優勝

9月20日、第38回上益城郡中学校総合体育大会陸上競技が益城町総合運動公園陸上競技場で行われました。御船中学校は、男子・女子・総合と全ての部門で優勝し、平成19年度以来6年ぶりの快挙を成し遂げました。各種目の1位の結果は次のとおりです。(敬称略)

種 目	氏 名	記 録
2年 1500m	井本 玲也 (2年)	4分35秒5
代表 400m	東 晃隆 (3年)	55秒8
代表 800m	星野 大生 (3年)	2分13秒1
代表 3000m	東 晃隆 (3年)	10分3秒1
代表 100mH	内田 銀 (3年)	15秒2
代表 110mH	内田 銀 (3年)	16秒8
代表 400mR	①溝越 (3年) ②本田 (3年) ③市原 (3年) ④東 (3年)	46秒3
1年 800m	西山 祥世 (1年)	2分28秒4
代表 80mH	綾 春菜 (3年)	13秒9
代表 100mH	村上 僚 (3年)	17秒3
代表走り幅跳び	増永 萌乃 (2年)	4m34
低学年 400mR	①永本 (1年) ②増永 (2年) ③福田 (1年) ④中嶋 (2年)	54秒8

奉納相撲に多くの子どもたち

江戸時代から続くと伝えられている水越大祭が、水越神社で行われました。水越神社は、承安3年(1173)に創建され、社殿の木材はすべて銀杏の木が使用されている珍しい神社です。今年も五穀豊穡を願い、9月22日に大祭と奉納相撲が行われました。昼から行われた奉納相撲には、里帰りをした多くの子どもたちが参加。一生懸命に相撲を取る子どもたちの姿に、見物者たちからは大きな歓声と笑い声が聞こえていました。



【推薦】
「花火に浮かび上がった恐竜」
があーっぱ祭りコンテスト



御船の夏の思い出

9月21日、カルチャーセンターで第41回御船があーっぱ祭り写真コンテストの表彰式が行われました。今年は、47人から178点の応募があり、最優秀賞の「推薦」に選ばれた井上信明さん(熊本市)ら15人に賞状などが贈られました。表彰式では、があーっぱ祭り振興会の福味総一郎副会長より「祭りにもアドバイスをもらい感謝している。これからも人々に勇気や感動をあたえてください」と感謝の言葉が述べられました。入賞した15作品は10月31日(木)まで役場1階ロビーで展示されてます。

秋の水越を感じて

9月28日、水越秋の収穫祭と稲刈り体験が旧水越小近くの田んぼで行われました。収穫祭は、水越地域活性化協議会(田上一也会長)が初めて企画し、水越で収穫された野菜などの販売や水越秋の味覚大試食会、水越の特産品を串にした水越串も登場しました。いがぐりを使った「いがりんピック」が行われ、手袋をしていがぐりで風船を割るゲームや、素手でいがぐりを何ぶん飛ばせるかを競いました。稲刈り体験では、参加者は鎌で稲を刈り、掛け干しを体験し、1日笑い声や歓声でにぎわいました。



- ①素手でいがぐりを投げる子どもたち。
- ②稲刈りを体験する様子。
- ③子どもたちも手袋をしていがぐりで風船を割りました。
- ④水越の特産品を串刺しにした水越串。

復興を願い東北へ

9月18日～20日の3日間、町農業委員会(宮本力会長)の13人が、自主研修として宮城県名取市を訪問しました。農業委員会の自主研修は数年に1度行われており、今回は東日本大震災で被災した地域の復興支援を願い行われました。研修先の名取市商工会では、当時の防災意識・設備状況・復興までの苦労や道のりなど、被災当時の状況などの説明を受け、改めて防災意識の大切さを実感しました。研修では、1日も早い復興を願って、町農業委員会より義援金が贈られました。



- 上) 義援金を名取市商工会長へ渡す宮本会長
- 下) 被害の大きかった関上地区



長年の活動に感謝状

10年以上にわたり、緑川水系御船川の排水樋管ひかんの操作点検や地域の安全と適切な河川管理に貢献した、白川知弘さん(滝川)、中島弦二さん(御船)、永友政輝さん(御船)、永本繁喜さん(滝川)、本田安明さん(辺田見)、本村昌士さん(滝川)、山下満さん(辺田見)、山地整さん(小坂)の8人に国土交通事務所所長より感謝状が贈られました。町には、10カ所の樋管があり、11人で管理を行っています。【樋管とは】川の水位が大雨などで高くなった時に、水路や水田に逆流しないように設けられたゲートのことです。

